

# 『子どもの未来支援ノート』 放課後児童クラブ

NPO法人親子ふれあい教育研究所

さいたま市学童保育連絡協議会  
子ども・放課後サポートセンター

埼玉県共助社会支援事業



## 『子どもの未来支援ノート・放課後児童クラブ』について

『子どもの未来支援ノート・放課後児童クラブ』は、「埼玉県共助社会支援事業」として、NPO法人親子ふれあい教育研究所が採択、作成しました。また、作成に当たっては、様々な場面で貴重なご意見やご指摘を「さいたま市学童保育連絡協議会」並びに「子ども・放課後サポートセンター」から頂きました。また、指導員の方々の貴重なご意見も頂きました。関係各位には、心より御礼申し上げます。

### 内容構成

- ①子どもの未来支援ノート（以下支援ノート）の基本は、「はい・いいえ」で☑する。自由記述欄は、コメント程度にしました。
- ②支援ノートは、子どもへのサポートの確認から始まり、徐々に空欄を埋めることで、気になる子どもの課題や対応方法が見えてきます。
- ③最近、気になる子どもを見ると、すぐに「発達障がい」に結び付けますが、「愛着障がい」の可能性もあります。いつでも、誰でも対応可能で、改善の期待が大なのが「愛着障がい」です。
- ④支援ノートは、個人の記録だけではなく、複数の指導員が相互に記録し、比較検討するところに意義があります。一人の悩みではなく、共通の悩み、課題とする。又、同じ土俵（支援ノート）を使用して点検評価することで、新たな対応策が見つかるかも知れません。
- ⑤保護者については、保護者への助言と対応・母親のストレスチェックをご利用ください。又、最後にご自身の自己点検をしてください。
- ⑥支援ノートは、「新人指導員」用に作成しましたが、ベテランの指導員も十分活用できます。多くのクラブで活用頂ければ幸いです。

問い合わせ先；NPO法人親子ふれあい教育研究所（TEL048-756-4657）

## 「子どもの未来支援ノート」作成の経緯

放課後児童クラブの指導員300人を対象に「ストレスチェック」を実施した結果、①高ストレス者（予備軍含む）が想像以上に多かった。②人員構成が、経験年数の少ない若年層と高年齢層に偏る典型的な「V字型」であることが、再確認できた。③新人指導員は、子どもたちから「言葉の暴力」など厳しい洗礼を受けている。④また、気になる子どもの対応についても悩みが多い。⑤指導員の自信の無さが、仕事への意欲の減退につながっている。⑥職員体制が、少人数で、年齢や経験が違う為に意思の疎通が難しいところがある。⑦年齢や経験に関係なく、保護者対応には悩みがある。

以上の結果から、新人指導員が少しでも「楽に・楽しく・確実に」仕事をするためのチェックリスト的な物が必要と考えた。『子どもの未来支援ノート』について、関係各位に提案したところ、賛同が得られた。



## 「子どもの未来支援ノート」放課後児童クラブ

クラブ名 ( )

氏名 ( )